

令和元年度 中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

【基本目標】	心身ともに健康で、気力にあふれ、夢に向かって創造力とたくましい実践力を発揮し、新しい時代を拓く知性豊かな児童を育成する。
【子ども像】	○ よく考え、自ら学ぶ子 ○ 健康で、粘り強くやり遂げる子 ○ 誠実で、思いやりのある子 ○ きまりを守り、責任を果たす子 ○ 広い心を持ち、文化を大切にする子 《 合言葉 》 【 考える 】 【 やりぬく 】 【 助け合う 】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

○ 「子ども」にとって		わくわくしながら登校し、満足して下校できる学校
○ 「教職員」にとって		自分の力を十分に発揮できる、やりがいのある学校
○ 「保護者」にとって		安心して子どもを通わせられる学校
○ 「地域」にとって		信頼できる開かれた学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 人権を尊重し、心豊かな子どもを育成するために、多様な人々と共働する主体的な活動を取り入れ、よさを認め励まし、基本的な生活習慣の定着を図る心の教育の推進に努める。
- (2) 自ら学び、考え、表現する力を育成するために、意欲の向上と深い学びの実現に向けた学習指導の充実に努める。
- (3) 健やかでたくましく生きる子どもを育成するために、体力の向上と望ましい食習慣の形成と命を守る安全教育の充実に努める。
- (4) 家庭・地域・関係機関と連携した社会に開かれた教育課程を推進するために、地域の人的・物的資源を効果的に活用した、地域とともにある学校づくりに努める。
- (5) 教職員が共働・協働の意識を高め、使命感と専門職としての自覚のもと、研修に励み、信頼される職場づくりに努めるとともに、ゆとりを生み出す校務の効率化と勤務時間の適正化を図り、学校組織力の向上に努める。

○(6) 旭地域学校園の教育ビジョンを目指し、地域内の小中学校の情報共有と共通実践を通して、小中連携の一層の充実に努める。

[旭地域学校園教育ビジョン] 「地域に愛される旭っ子」
 地域社会の一員としての役割や責任を自覚し、家族や友人、地域の人々への感謝の気持ちを持ち、思いやりをもって接するとともに、ルールやマナーを守るなどの社会性を身に付け、進んで身の回りの人々や地域のために奉仕的に行動できる子どもを育てる。

4 教育課程編成の方針

児童・地域の実態や状況を考慮し、各種法令等、本校教育目標を踏まえ、家庭や地域と連携し、これからの社会を生きていくために必要な資質・能力である「生きる力」を培うことを目指した教育課程の編成に努める。
--

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】	○「大樹のごとく伸びる子」を育むために、学校の組織力を高め、学校・家庭・地域の連携・協働による特色ある教育活動を展開し、地域とともにある学校づくりを推進する。
【学習指導】	○主体的に取り組み、共に学び合う児童の育成 ～ 自ら考えを広げ、深めることのできる授業づくり ～
【児童生徒指導】	○基本的な生活習慣を身に付け、集団生活のルール・マナーを守る態度の育成 “あっぱはと笑顔輝く学校に！” ～ あいさつ・「はい」という返事・はきものをそろえる ～
【健康（保健安全・食育）・体力】	○自ら判断し、進んで健康で安全な生活をしようとする児童の育成 ～ 「自分の力に合っためあてをもち、主体的に運動する児童」 「自分の体に関心をもち、健康で安全な生活ができる児童」をめざして

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	①授業の中で、児童が「知りたい」「解決したい」と思えるような課題の設定や提示の仕方を工夫して、知的好奇心を喚起し、児童の学びに対する主体性を高めます。 ②落ち着いて話を聞いたり、自信をもって発表したりできる児童を育てるため、「話し方」、「聞き方」等の基本的な学習ルールの指導に努めます。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上、 ⇒保護者・地域の肯定的回答 80%以上	①異学年活動の充実を図り、高学年児童が自信をもってリーダーシップをとり、望ましい人間関係を構築できるよう支援します。 ②児童が互いに認め合い、自己肯定感を育てられるよう、「特別の教科 道徳」の充実を図り、認め、励ますなどの声掛けに努めます。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 80%以上	①「ザウルスキッズ5つのやくそく」の意識化と実践化を図るため、『あはは』（あいさつ・「はい」という返事・はきものをそろえる）に焦点を当てた指導を行い、基本的な生活マナーを守っていこうとする態度の育成に努めます。 ②安全な登下校の方法について、それぞれの担当場所の問題点について学校全体で情報を共有し児童への指導に当たります。 ③月ごとの行事や気候に合わせた生活目標を設定し、帰りの会等で児童自身が振り返りを行うことで、望ましい生活習慣の確立に努めます。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上、 ⇒保護者・地域の肯定的回答 80%以上	①教職員が率先して明るいあいさつの実践、声掛けに努めます ②地域や家庭、中学校と連携を図り、全校体制であいさつ運動を実施し、学校内・外での元気なあいさつの習慣化を図ります。 ・「あいさつ週間」における登校班の班長を中心としたあいさつ運動の展開 ・高学年を中心とした自主的なあいさつ運動の展開 ③道徳、学級活動、日々の指導を通してあいさつの種類や時と場に応じたあいさつについて指導していきます。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上、 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①より高い目標を立て「挑戦する」体験活動や「がまんして」やり続ける活動、「あきらめず」に努力し、最後までやり遂げる活動を設定し、児童が達成感や成就感を味わうことができるように努めます。 ・水泳検定 ・持久走大会 ・長縄チャレンジ ②「宮っ子心の教育表彰」を活用して学校独自の表彰制度を整えるなど、児童生徒のよさや努力等を積極的に認め、励ます教育に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者・地域の肯定的回答 85%以上	①関係諸機関と連携して交通安全教室、防犯教室を行うとともに、様々な危険を想定した避難訓練を実施することを通して、「生活安全」・「交通安全」・「災害安全」に関する教育の充実に努めます。 ②健康な体作りができるように、運動・食事・睡眠などの健康的な生活習慣や病気・けがの予防法について指導していきます。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上, ⇒保護者の肯定的回答 80%以上,	・自分自身の将来の夢や目標をもつことができるように、外部講師による「未来体験」や「教えて先輩」などの活動や地域清掃などの体験を計画実施し、社会に目を向け努力できるよう支援します。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上	①児童生徒が、英語を使って自分の気持ちや考えなどを適切に伝えることができるよう、教員が自ら積極的に英語を使うとともに、ALTを活用した、英語によるやりとりを中心とした授業を推進します。 ②英語のネイティブスピーカーであるALTを、授業はもとより休み時間や放課後などあらゆる時間において活用し、児童生徒が生きた英語に触れる機会の充実を図ります。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	①児童が、郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて知り、郷土への愛情と誇りをもてるよう、大谷地区及び食文化を学ぶ授業や「百人一首」に親しむ学習を推進します。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童(生徒)は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 85%以上	①これからの社会に求められる情報活用能力を育成するために「情報モラル教育」や「パソコンを活用した授業の実施」「プログラミング教育の推進」等の充実を図ります。 ②学習における図鑑などの書籍や新聞等の活用を推進し、図書室の学習センター・情報センターとしての機能を充実させます。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】(A2) 全体アンケートの「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答85%以上、 ⇒保護者・地域の肯定的回答80%以上	①高齢者との「ふれあい給食」や学校支援ボランティアとの交流、「感謝の会」などを通して思いやりの気持ちなどを育てます。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答80%以上	①国語・社会・総合的な学習の時間等において、環境問題やエネルギー問題、防災等の「持続可能な社会」を見据えた授業の充実を図ります。 ②エコキャップ回収や地域クリーン活動、宇都宮市役所景観みどり課と行う「緑いっぱい活動」、教材園活動など、環境に関わる教育活動を展開します。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 家庭学習の習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、家庭学習や自主学習に進んで取り組んでいる」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答90%以上	①家庭と連携して、「家庭学習マイプラン」により、宿題の出し方を工夫し家庭学習の習慣化を推進していきます。 ②学年の発達段階に合わせた自主学習の方法や内容について指導し、継続して取り組めるように、手本となる児童のノートを称賛するなど児童の意欲喚起に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 児童は、読書習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、読書活動に進んで取り組んでいる」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答90%以上	①朝の読書の時間や、学校支援ボランティアによる読み聞かせの定期的な実施により、本に親しむ機会を多く設定し、児童の興味関心を高めます。 ②チャレンジブックの実施、読書週間でのイベント等を通して、豊かな感性を育む読書活動の推進に努めます。	達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	①日常の観察や相談活動のほか教育相談週間やQ-U検査など、多くの視点から児童理解に努めます。 ②通常の学級で特別な支援を必要とする児童の様々な教育的ニーズに対応するため、かがやきルームや特別支援学級、通級指導教室の効果的活用を図るとともに少人数指導やTTなど個に応じた指導・支援に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 90%以上	①児童についての日常の情報交換や観察、教育相談、アンケート調査等とおして、児童の実態把握、いじめの早期発見・早期解決に努めるとともに、「ネットコミュニケーションのマナーやルール」の大切さと危険性について、懇談会等の機会を利用して児童・保護者への啓発に努めます。 ②教科や道徳、学級活動の時間に、「いじめ」は絶対に許されないということを、継続指導していきます。 ③「いじめゼロ強調月間」を設定し、全校集会を行い、全児童が作った標語を教室に掲示するなどして意識付けを図ります。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の児童を大切に、児童がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 85%以上	①「挨拶」「励まし」「称賛」等の、お互いをより身近に感じることができるとような気軽な言葉かけを行ったり、主体的に活動する場面や、活躍できる場面を授業の中に設定したりするなど、すべての児童にとって居がいのある、温かい雰囲気学級経営を行います。 ②不登校の兆しを見逃さずに早期対応を確実に行うとともに、教育相談やQ-Uテストを通して児童の悩みや困り感の早期発見に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	①外国人児童等、支援が必要な児童に対して、充実した学校生活を送ることができるよう、関係機関と連携し、様々な障害を克服することができる支援体制づくりに努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 90%以上	①児童一人一人の話をよく聞き、声を掛け、よいところを認めて伸ばす指導に努めます。 ②児童会活動や縦割り班活動の充実、学校行事の工夫・改善を通して、児童が主体的に活動する場を多く設定することで、楽しく活気あふれる学校づくりを目指します。	【達成状況】 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答 90%以上	①授業の「ねらい」を明確にし、ねらいや目標を達成させるための「手だて」を工夫し、児童が主体的に学びに取り組めるように、指導・支援方法の改善に努めます。 ②確かな学力を育成するため、少人数指導、習熟度別指導、T・T、かがやきルームでの指導など、個に応じた指導の更なる充実に努めます ③朝の活動（パワーアップタイム）の時間に、担任以外の教職員も加わり、複数の指導体制による学習支援を行い、学級・学校全体の学力向上に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	①様々な職員の専門性を生かし、効果的・効率的に授業や業務が行われるよう連携します。 ②学校行事や校内研修において、児童についての情報を共有したり、質の高い指導法を学び合ったり、全教職員が一丸となって、児童の指導を充実させます。	【達成状況】 【次年度の方針】

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	①働き方を見直すことで、時間を確保し一人一人の児童と向き合い、適切な指導・支援に努めます。 ②多様な専門性を有する学校スタッフが共同して教材を作成したり、資料収集したりすることで、児童の指導を充実させていきます。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒教職員・5・6年児童の肯定的回答 85%以上 ⇒保護者・地域の肯定的回答 80%以上	①登校指導時における「中学生との合同あいさつ運動」や運動会での中学生ボランティア等、小学生と中学生が交流を図れる活動を工夫し、地域社会の一員として互いにつながり合って生きていこうとする意識を高めます。 ②各教科の9年間を見通した年間指導計画の実践や授業力向上のための小中合同研修の推進等により、9年間を見通した学力向上の推進を図ります。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答 85%以上	①地域のボランティアや専門家を学校に招き、学年に応じた様々な体験活動を実施するなど地域から学ぶ特色ある教育活動に努めます。 ②学校・家庭・地域が一体となり児童を育てるために、学校行事、学習、生活指導等において家庭・地域の参加を得た活動を展開・実践します。 ③学年だよりやホームページで、学校行事や学校の様子、学校の取組を積極的に発信し、理解と協力が得られるようにしていきます。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・教職員・保護者・地域の肯定的回答 85%以上	①学校支援ボランティアやコミュニティセンター、オリオン通り商店会などと連携し、学校と保護者、地域が一体となった教育活動を推進し、児童が多くの人と関わりながら体験的に学ぶ機会を充実させます。 ②PTA運営委員会や地域協議会で学校の取組を説明し、学校の現状や課題について理解していただき、改善策を検討して実践していくなど地域・保護者と連携・協力して学校教育活動の充実に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者・地域の肯定的回答85%以上	①定期的な安全点検を実施し、迅速な修繕・補修による適切な学習環境の整備に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員・保護者の肯定的回答85%以上	①児童の興味を高めたり、理解を深めたりする上で効果的なICT機器や図書等を整え、環境づくりに努めます。	
	B3 「自分・友だち・中央地区」みんな大好き夢いっぱい事業を掲げ、「学び」・「やさしさ」・「生きる力」の育成を図る。 【数値指標】 全体アンケートの「「考える」「やりぬく」「たすけあう」ザウルスキッズとして縦割り班活動や地域の行事などに一生懸命取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員・保護者・地域の肯定的回答80%以上	①本校のマスコットである「ザウルス」を活用し、「考える」「やりぬく」「たすけあう」のあいことばを意識させた各種活動の充実に努めます。	
本校の特色・課題等		②様々な人との関わりの中で、自己を高めることができるよう、体験活動や縦割り班活動、地域行事への参加など特色ある活動の展開に努めます。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

